

原子力発電は世界中で、その近隣住人および遠く離れた人をも脅かしています。

この技術は、制御できないものでした。地球上すべての国のわれわれ市長たちには、われわれの村や市の住民への責任として、また将来世代への責任として、この狂気に立ち向かうという課題が与えられています。

ドイツにいる私たちも、日本の当事者のみなさま、津波被災者のみなさま、福島原発事故被害者のみなさまのことを思っています。私たちの思いは、事故により故郷を失い避難されたご家族のみなさまや、多くの苦労・心配を抱えて汚染地域に留まらざるをえないみなさまとともにあります。

福島原発事故は、ドイツの私たちの反原発と再生可能エネルギー強化への闘いをも、勢いづけました。

私自身も、よく日本のみなさんのことを考えます。特に、私の仲間とも言うべき首長会議の皆さんに連帯の結びつきを感じています。脱原発をめざす首長会議の年次総会におきまして、実りある成果とご成功をお祈り申し上げます。

フルト(ドイツの最初のエネルギーシフト都市) 第一市長
ディーター・ゲヴィース